

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 本市の教育について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市では昨年度小中一貫校に じの丘学園の開校を機に市内 全域にて、小中一貫教育への取 り組みが本格的にスタートし た。小中一貫教育を推進してい くなかで、市長は協働型課題解 決能力の育成と郷土愛の醸成 の2つを今後は取り組んでい くことを、先の市制施行92周 年の式典でも述べられた。学習 や部活動のみならず学びの多 様性や教職員の働き方改革等 により児童生徒の学校での時 間が貴重なものとなっていく 中で、確かな理念に裏打ちされ た教育政策は今後さらに重要 度を増していくと考える。そこ で本市の教育の向上に繋がる よう先に述べた2つの取り組 みについて、現在取り組んでい る内容を伺う。</p>	<p>(1) 協働型課題解決能 力の育成について</p>	<p>① 教育アクションプランの基本目標の1である「確かな学力の定着と向上」として「基礎的基本的学力の習得」と、「知識や技能を活用して一人ひとりが自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的・協働的に探究し、思考を活発にするため、アクティブ・ラーニングを充実し、必要とされる資質・能力である思考力・基礎力・実践力を高め、生き抜く力を育む」としている。今後本市はこのアクティブ・ラーニングを協働型課題解決能力の育成としていくが、充実に向けての現在の取り組みについて具体的に伺う。</p> <p>② 92周年の式典にて市長は「協働型課題解決能力を育成するため、9年間を見通し、連続性・系統性に配慮した学習指導を実践する小中一貫教育を全市的に進めていく」と述べられたが、各中学校区において9年間の連続性・系統性を誰がまたはどの組織が核となって推進していき、PDCA サイクルをどの様に行うのか伺う。</p> <p>③ 連続性と系統性に配慮した学習指導を生徒一人ひとりに有益なものとしていくためには学校現場で関係教職員が共有するものが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 連続性・系統性に配慮した学習指導の実践について、施設一体型（にじの丘学園）と分離型（そのほかの6学区）の違いと課題を伺う。</p> <p>⑤ ①～④を現場で効果的に推進していくために行政として、学校とどう連携し何を取り組んでいくべきと考えるか伺う。</p> <p>⑥ 協働型課題解決能力の充実の先に児童生徒が「瀬戸で学んでよかった」と感じるような成果が必要だと考えるが、充実に向けての今後の計画を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) コミュニティスクールと郷土愛の醸成について	<p>① コミュニティスクールは「熟議」「協働」「マネジメント」の3つのキーワードで進めていくと伺っているが、それを意識した現在の取り組みの評価と課題を伺う。</p> <p>② コミュニティスクールは現在3つの中学校区で取り組まれているが、各実施校の状況と取り組んでいない地域との差をどう認識しているか伺う。</p> <p>③ 市長は式典にて「郷土愛の醸成を図るため子どもたちが地域に憧れ、愛着を持つように、小さな頃から郷土愛を育む機会が大切と考える」と述べられたが、この「育む機会」は現在のコミュニティスクールを推進していくことで充分か伺う。</p> <p>④ 子どもたちへ郷土愛を育むという事は、本市のアイデンティティである「やきもの文化」と、「自らが生まれ育った地域の郷土の歴史」を学ぶという両面であると考えが見解を伺う。</p> <p>⑤ にじの丘学区の5つの連区は、地域と学校とのかかわりが手探りの状態であり地域住民も戸惑いがあると聞く。地域から学校がなくなった今、本市が目指すにじの丘学区の各連区においての、地域と子どもたちの関わり方とはどうあるべきかを伺う。</p> <p>⑥ ⑤は各地域で共有されているか認識を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次、 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)魅力的な学校は子育て世代の移住と地域の活性化に繋がる。	<p>⑦ 郷土愛の醸成を向上していくためのPDCA サイクルをどの様に行うのか伺う。</p> <p>⑧ 本市で学んだ児童生徒が将来、故郷を愛し、故郷に誇りを持てるようにするため、行政は、学校は、地域の大人たちは具体的に何をしていくべきと考えるか、それぞれ伺う。</p> <p>① にじの丘学園が開校し、子育て世代の移住者が増え来年度の生徒数もかなりの増加と聞く。これは魅力的な学校や充実した教育内容が”住みたいまち”の大きな要素であることの表れと考える。また地域と学校がかかわることは、児童生徒はもとより保護者にも地域を知り愛着を感じる機会となり、それは”誇れるまち”へ繋がっていくものと考え。そのためには小中一貫教育の推進と向上が重要であり、それは市民が、我が子を瀬戸で育ててよかったという想いに繋がっていく。この「瀬戸市の教育」をシティプロモーションの柱とし市内外へ積極的に発信していくことが本市の将来に向けて必要と考えるが、見解と今後の方策を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。